

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.8.24

第 1112 回放送分『子どもの疾患』4 回目

ゲスト：鈴木昌也ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「子どもの疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 鈴木昌也（すずひがし まさや）ドクターです。
鈴木さん、どうぞよろしく願いいたします。

鈴木昌也Dr.

よろしく願いいたします。

二見いすず

先週は、子どもの嘔吐と下痢についてお話しいただきました。
大半は、ウイルス性胃腸炎の場合が多いということですが、もし「下痢はないけど、嘔吐だけある」という場合は胃腸炎以外の疾患の可能性があり、中でも脳腫瘍の可能性のあるケースもあるので、十分注意が必要というお話でした。
また、緊急手術が必要な胆汁性嘔吐の場合は、嘔吐したものの色が、黄色から濃い緑色をしているため、嘔吐した色にも注意することが大切ということでした。
今日は何についてお話しいただけますか。

鈴木昌也Dr.

今日は、子どもの血便についてお伝えいたします。

二見いすず

大人だと、血便の場合は「大腸がんなのでは・・・？」と心配になりますが、
子どもの場合はどうなのでしょう？

鈴木昌也Dr.

そうですね。大人だと大腸がんを疑うことがあると思いますが、小どもの場合は大腸がんを疑いません。
子どもの年齢と症状によって、血便の原因はある程度絞られます。

二見いすず

そうなんですね。

鈴木昌也Dr.

まず生後半年から3歳未満の子どもの場合、先々週お伝えした腸重積症が考えられます。

二見いすず

すごく痛くて泣く、あの腸重積症ですね。

鈴木昌也Dr.

はい。ちなみに一番頻度が高いのは裂肛といって切れ痔です。

二見いすず

そういえば以前、子どもの腹痛の原因で最も多いのが便秘ということでしたが、これも関係しているのでしょうか？

鈴木昌也Dr.

おっしゃるとおりです。便秘が原因となって、硬い便をしたときに切れ痔になり、そしてまた痛いものだから便を我慢してしまうんですね。

二見いすず

悪循環になってしまうんですね。

鈴木昌也Dr.

そうなんです。便秘に対するコントロールを行うことで、切れ痔は改善します。子どもの便秘に関しては、また来週しっかりとお伝えいたします。

二見いすず

分かりました。

鈴木昌也Dr.

切れ痔以外では若年性ポリープの可能性もあります。悪性化することはないので、その点をご安心ください。大腸カメラで切除します。また、メッケル憩室という小腸の病気もあります。症状がないことが多いのですが、血便や腹痛があるときは手術をします。

二見いすず

他にはどのような病気の可能性がありますか？

鈴木昌也Dr.

発熱がある場合は、細菌性腸炎が疑われます。熱がなくて黒い便のときは胃十二指腸潰瘍の可能性もあります。また長期間繰り返す下痢や腹痛を伴う血便では、クローン病や潰瘍性大腸炎といって小腸や大腸な

どの粘膜に慢性的な炎症を起こす病気の可能性を疑います。

二見いすず

よく分かりました。

今月は、「子どもの疾患」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 鈴東昌也ドクターでした。

鈴東さん、ありがとうございました。

鈴東昌也Dr.

ありがとうございました。